

平成24年度決算の概要

市の財政は、皆さんに納めていただいた市税のほか、国や都からの補助金などの収入から成り立っています。そして、そのお金は、福祉、教育、まちづくりなど、皆さんの暮らしに深いかかわりを持つさまざまな分野に使われています。

そこで、どのようなお金が入ってきて何に使われているのかなどをお知らせするため、財政状況を公表しています。

今回お知らせするのは、平成24年度の一般会計と6つの特別会計の決算、市の財産、借入金などの概要です。

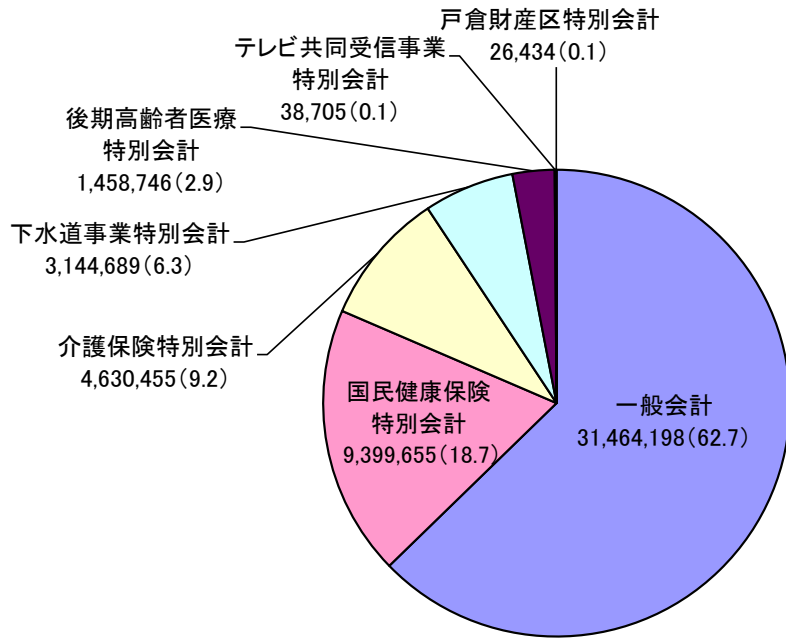
< 各会計の決算状況 >

(単位：円)

区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	収入率	歳 出 決 算 額	執行率
一 般 会 計	32,069,574,000	31,464,198,146	98.1%	30,874,890,029	96.3%
特 別 会 計	18,399,538,000	18,698,683,922	101.6%	18,090,714,572	98.3%
国民健康保険	9,129,456,000	9,399,654,481	103.0%	8,991,627,246	98.5%
後期高齢者医療	1,455,842,000	1,458,746,005	100.2%	1,434,858,088	98.6%
介護保険	4,612,577,000	4,630,455,373	100.4%	4,500,735,113	97.6%
戸倉財産区	18,878,000	26,434,118	140.0%	13,527,876	71.7%
下水道事業	3,138,874,000	3,144,689,229	100.2%	3,111,575,231	99.1%
テレビ共同受信事業	43,911,000	38,704,716	88.1%	38,391,018	87.4%
合 計	50,469,112,000	50,162,882,068	99.4%	48,965,604,601	97.0%

一般・特別会計決算(歳入)総額: 50,162,882千円

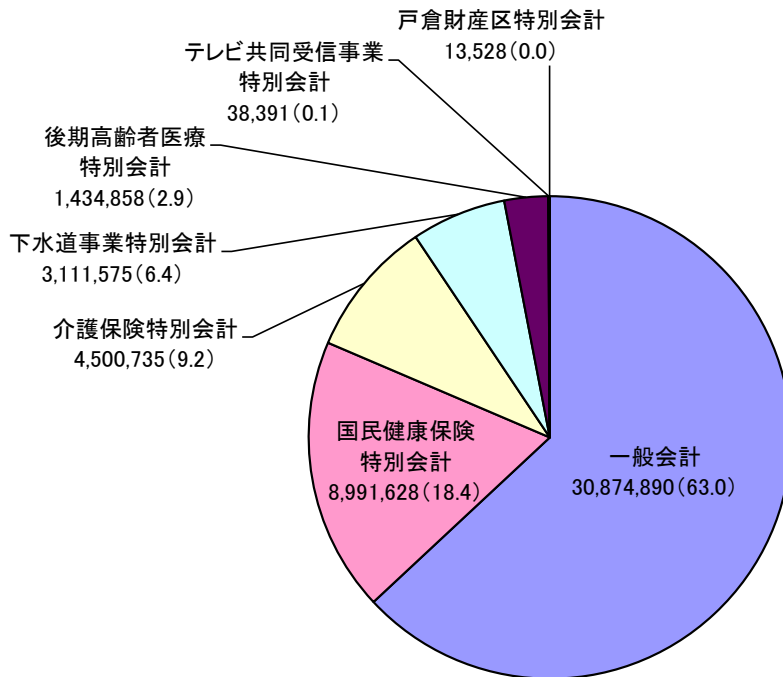
(単位:千円、%)



< 凡例 >
項目
金額(構成比)

一般・特別会計決算(歳出)総額: 48,965,605千円

(単位:千円、%)



< 凡例 >
項目
金額(構成比)

＜一般会計の決算状況＞

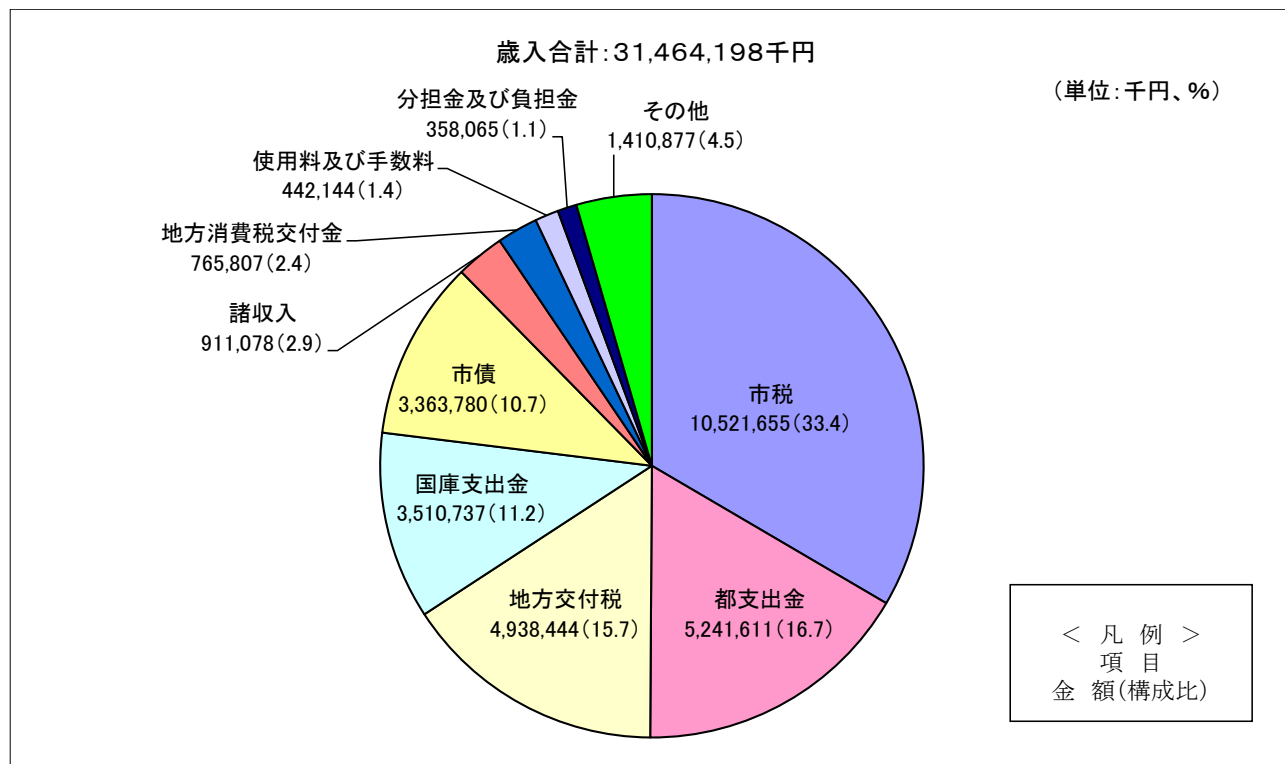
一般会計の予算額は、当初予算後に7回の補正を行った結果、前年度からの繰越額を含めて、320億6,957万4,000円となりました。

決算額は、歳入が314億6,419万8,146円（収入率98.1%）、歳出が308億7,489万29円（執行率96.3%）となり、差引き5億8,930万8,117円を平成25年度へ繰り越しました。

歳 入

（単位：円）

区 分	予 算 額	決 算 額	構成比	収入率
市 税	10,431,698,000	10,521,654,595	33.4%	100.9%
都 支 出 金	5,573,510,000	5,241,611,142	16.7%	94.0%
地 方 交 付 税	4,922,140,000	4,938,444,000	15.7%	100.3%
国 庫 支 出 金	3,571,937,000	3,510,736,959	11.2%	98.3%
市 債	3,551,180,000	3,363,780,000	10.7%	94.7%
諸 収 入	1,031,132,000	911,078,513	2.9%	88.4%
地方消費税交付金	770,784,000	765,807,000	2.4%	99.4%
使用料及び手数料	443,169,000	442,143,514	1.4%	99.8%
分担金及び負担金	356,025,000	358,065,271	1.1%	100.6%
そ の 他	1,417,999,000	1,410,877,152	4.5%	99.5%
合 計	32,069,574,000	31,464,198,146	100.0%	98.1%



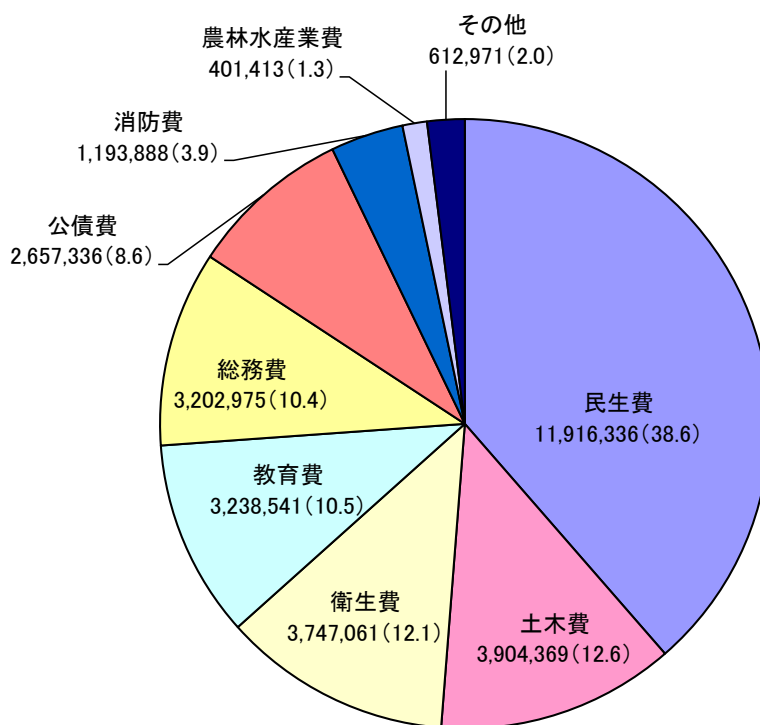
歳 出 (目的別)

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	構 成 比	執 行 率
民 生 費	12,192,435,000	11,916,335,856	38.6%	97.7%
土 木 費	4,282,757,000	3,904,369,285	12.6%	91.2%
衛 生 費	3,825,681,000	3,747,060,887	12.1%	97.9%
教 育 費	3,429,830,000	3,238,541,320	10.5%	94.4%
総 務 費	3,300,552,000	3,202,974,505	10.4%	97.0%
公 債 費	2,665,943,000	2,657,336,406	8.6%	99.7%
消 防 費	1,214,889,000	1,193,888,147	3.9%	98.3%
農 林 水 産 業 費	503,701,000	401,412,675	1.3%	79.7%
そ の 他	653,786,000	612,970,948	2.0%	93.8%
合 計	32,069,574,000	30,874,890,029	100.0%	96.3%

歳出合計(目的別): 30,874,890千円

(単位: 千円、%)



< 凡 例 >
 項 目
 金 額 (構成比)

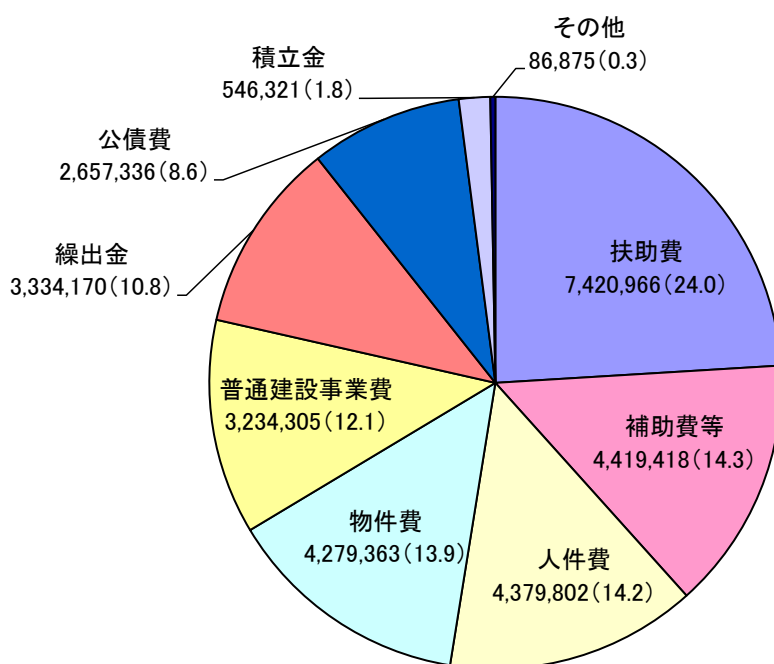
歳 出 (性質別)

(単位：千円)

区 分	決 算 額	構 成 比
扶 助 費	7,420,966	24.0%
補 助 費 等	4,419,418	14.3%
人 件 費	4,379,802	14.2%
物 件 費	4,279,363	13.9%
普通建設事業費	3,750,639	12.1%
繰 出 金	3,334,170	10.8%
公 債 費	2,657,336	8.6%
積 立 金	546,321	1.8%
そ の 他	86,875	0.3%
合 計	30,874,890	100.0%

歳出合計(性質別): 30,874,890千円

(単位:千円、%)



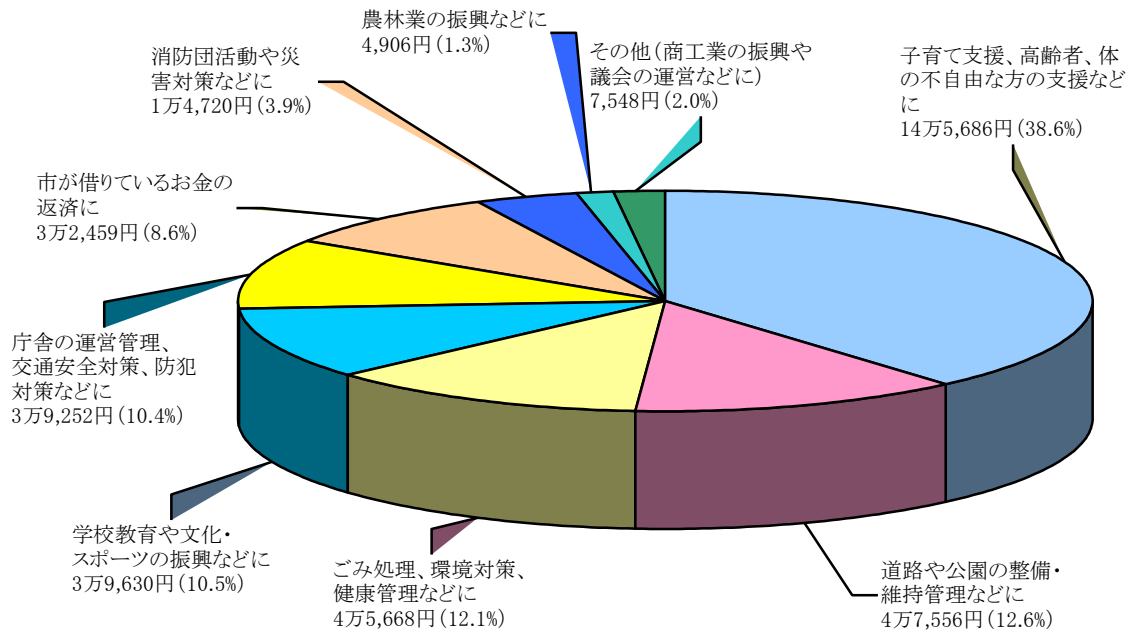
< 凡 例 >
 項 目
 金 額(構成比)

＜市民1人当たり・1世帯当りに使われたお金＞

【一般会計歳出決算額】 308億7,489万29円	
【1人当たりに使われたお金】 37万7,425円	【1世帯当りに使われたお金】 91万5,191円
【総人口】 8万1,804人	【総世帯】 3万3,736世帯

※総人口・総世帯は平成25年3月31日現在

＜市民1人当たりに使われたお金（37万7,425円）の使いみち＞



＜市有財産の状況＞

- ・ 土地面積（学校敷地など） 594万7,490㎡
- ・ 建物面積（庁舎など） 19万1,885㎡
- ・ 自動車保有台数（消防車両27台を含む） 90台
- ・ 出資金などの現在高 1億306万5,000円

＜基金の状況＞

基金とは、今後の支出に備えて特定の目的ごとに積み立てている資金です。平成24年度末現在の基金の現在高は、17基金で、31億251万8,018円となっています。

基金名称	基金の現在高
財政調整基金	1,200,801,000円
テレビ共同受信施設整備基金	721,973,307円
公共施設整備基金	282,256,000円
介護給付費準備基金	152,005,613円
国民健康保険基金	142,738,277円
減債基金	133,153,000円
戸倉財産区基金	132,386,000円
ふるさとの緑地保全基金	116,000,000円
観光振興基金	55,876,000円
小峰工業団地形成基金	31,243,000円
郷土の恵みの森づくり事業基金	30,565,000円
羅災救助基金	28,050,000円
市営住宅整備基金	25,148,000円
育英資金貸付基金	22,972,821円
社会福祉基金	16,489,000円
健康づくり応援基金	5,861,000円
国民健康保険高額療養費資金貸付基金	5,000,000円
合 計	3,102,518,018円

※平成24年度末現在の基金の現在高は、平成24年度出納整理期間（平成25年4月1日から同年5月31日まで）の終了後の現在高を記載しています。

＜市債の状況＞

道路、公園、学校などの公共施設の整備には、一度に多くのお金が必要となるため、国や都の同意を得て、国、都、銀行などからお金を借ります。これを市債といいます。

市債の活用により、現在施設を利用されている方だけではなく、これから利用される世代の方々にも負担していただくことで、世代間の負担の公平を図っています。

下表のとおり、市債は前年から約4億2,000万円増加しています。一方、一部事務組合の借入金などで当市が将来的に負担すべき額は、前年から約19億1,000万円減少しており、これらを合わせると平成23年度から約14億9,000万円減少しています。

市 債 の 目 的			市債の現在高
一 般 会 計	普 通 債	教育債（学校や図書館などの整備のために）	4,264,902,353円
		土木債（道路などの整備のために）	3,488,626,160円
		衛生債（保健センターなどの整備のために）	3,185,837,057円
		総務債（庁舎建設などのために）	1,732,246,045円
		商工債（観光施設などの整備のために）	1,253,281,760円
		民生債（児童館などの整備のために）	171,715,345円
		消防債（消防施設の整備のために）	167,541,017円
	そ 他	臨時財政対策債 ^{※1} （財源確保のために）	10,805,122,173円
		減税補てん債 ^{※2} など（財源確保のために）	1,815,073,850円
計			26,884,345,760円
下水道事業特別会計（下水道の整備のために）			24,490,776,671円
合 計 (①)			51,375,122,431円
平成23年度末残高 (②)			50,960,670,892円
差 し 引 き (①－②)			414,451,539円

※1 臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

※2 減税補てん債とは、国の減税政策による個人住民税などの減収を埋めるために借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

(参考) 一部事務組合の借入金などで、当市が将来的に負担すべき額

区 分		現 在 高
一 部 事 務 組 合	阿 伎 留 病 院 組 合	4,738,982,064円
	西 秋 川 衛 生 組 合	527,422,697円
	秋 川 流 域 斎 場 組 合	271,602,477円
	秋 川 衛 生 組 合	0円
あきる野市土地開発公社（簿価残高）		2,228,447,533円
合 計 (①)		7,766,454,771円
平成23年度末残高 (②)		9,672,096,647円
差 し 引 き (①－②)		△1,905,641,876円

<特別会計の状況>

[国民健康保険特別会計]

主な収入済額は、国民健康保険税、国、都の支出金、社会保険診療報酬支払基金からの交付金と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、保険給付費で、全体の66.4パーセントを占めています。

[後期高齢者医療特別会計]

主な収入済額は、後期高齢者医療保険料と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、広域連合納付金で、全体の92.3パーセントを占めています。

[介護保険特別会計]

主な収入済額は、65歳以上の方からの保険料、社会保険診療報酬支払基金からの交付金(40歳以上64歳以下の方からの保険料)、保険給付費に対する国・都からの負担金と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、居宅介護サービス費や施設介護サービス費などの保険給付費で、全体の92.1パーセントを占めています。

[戸倉財産区特別会計]

主な収入済額は、立木売払収入と立木等補償金です。主な支出済額は、森林の保育管理経費です。

[下水道事業特別会計]

主な収入済額は、国や都からの補助金、市債、使用料と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、公共下水道の污水管布設工事費、維持管理費と市債の償還金です。

平成24年度の公共下水道事業として、污水管を約1,678メートル布設しました。整備面積は4ヘクタールで、前年度までとの累計で1,317ヘクタールとなりました。

[テレビ共同受信事業特別会計]

主な収入済額は、施設整備基金繰入金と加入者分担金です。主な支出済額は、受信施設整備事業費です。